

2023年3月期 第1四半期 決算説明会

2022年8月10日

富士フイルムホールディングス株式会社

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

2023年3月期 第1四半期

1 | 決算ハイライト及びトピックス

富士フイルムホールディングス株式会社 代表取締役社長・CEO **後藤禎一**

2 | 連結業績及び事業概況

富士フイルムホールディングス株式会社 取締役・CFO **樋口昌之**

2023年3月期

3 | 通期連結業績予想

富士フイルムホールディングス株式会社 取締役・CFO **樋口昌之**

2023年3月期 第1四半期

決算ハイライト及びトピックス

2023年3月期 第1四半期 決算ハイライト

FUJIFILM

2023年3月期 第1四半期 連結業績

売上高

6,259 億円

対前年 (+7.4%)

営業利益

496 億円

(-12.0%)

当社株主帰属
四半期純利益

414 億円

(-27.8%)

- ▶ 売上高は、メディカルシステム、電子材料の販売好調や為替影響により、全セグメント増収。
- ▶ 営業利益は、前年のコロナ関連需要の減少や、部材・エネルギーコストの高騰、中国ロックダウン影響等により減益。
- ▶ 当社株主帰属四半期純利益は、前年に投資有価証券評価益があり減益。

2023年3月期 通期連結業績予想

売上高

2兆 7,000 億円

対前回予想(5/11) (+500億円)

営業利益

過去最高

2,500 億円

(+50億円)

当社株主帰属
当期純利益

1,950 億円

(+30億円)

- ▶ 「売上高」は、為替前提を見直し、全セグメントで上方修正。
- ▶ 「営業利益」及び「当社株主帰属当期純利益」は、部材・エネルギーコスト高騰等によるマイナス影響を、売上増による増益効果でカバーし、上方修正。
- ▶ 年間配当は、13期連続増配となる120円/株を予定。

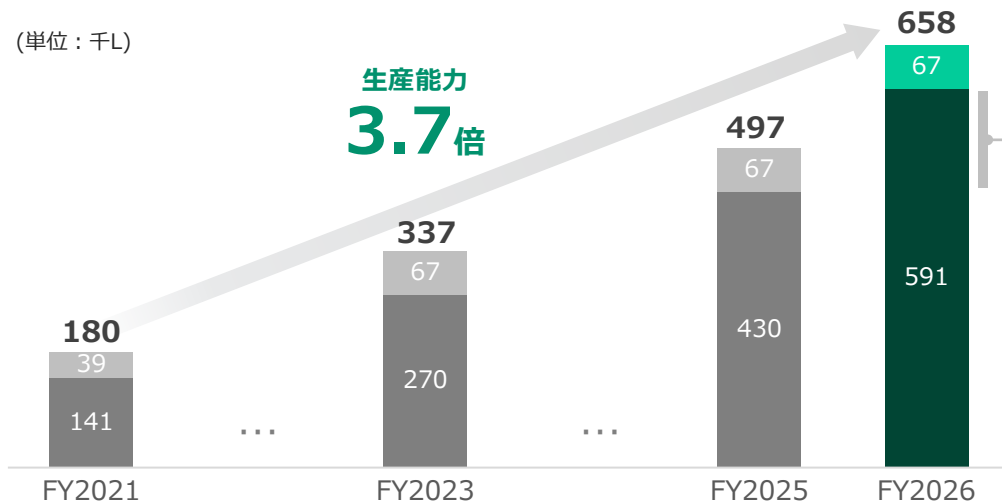
2023年3月期 第1四半期 決算トピックス

バイオCDMO

欧米拠点に新たに総額約2,000億円の大規模投資を決定。バイオ医薬品の開発・製造受託事業の成長を一段と加速させ、2030年度：5,000億円の売上高を目指す。

- 2万L 培養槽 現状 **6基** → FY2026 **28基** へ増設
- 生産能力(培養タンク容量) 現状 **18万L** → FY2026 **66万L** へ増加

(単位：千L)



総額2,000億円の設備投資内容

■ デンマーク拠点：

- 新棟の建設
- 2万L動物細胞培養タンク(8 基)
- 精製設備などの導入

■ 米国拠点 (テキサス州)：

- 連続生産システムによる GMP 製造が可能な設備(英国拠点に続く2拠点目の導入)

■ その他(組換たんぱく医薬 (微生物細胞培養)・遺伝子治療薬・ワクチン)
■ 抗体医薬 (動物細胞培養)

④ 健康 (Health)

インドにがん検診を中心とした健診センター「NURA」^{ニューラ} 2 拠点を新たに開設

2021年2月 本年7月 本年9月

- ▶ ベンガルールに、グルグラム、ムンバイを加え、計3拠点。
- ▶ 画像診断支援 AI 技術を活用し、がん・生活習慣病の早期発見に貢献※。
- ▶ 中東アフリカ、東南アジアなどを含め、新興国で100拠点設立を目指す。

※ 経済産業省が推進する「インド太平洋地域サプライチェーン強靱化事業」に採択されている本事業において、ブロックチェーン技術を用いたデータ連携基盤を構築し、「NURA」3 拠点で得られた健診データを、AI 技術を用いて分析し受診者へのフィードバックなどに活用する仕組みを実証していく。

⑤ 環境 (Environment)

バイオCDMOデンマーク拠点でカーボンニュートラルに向けた取り組み

FUJIFILM Diosynth Biotechnologies Denmark ApS

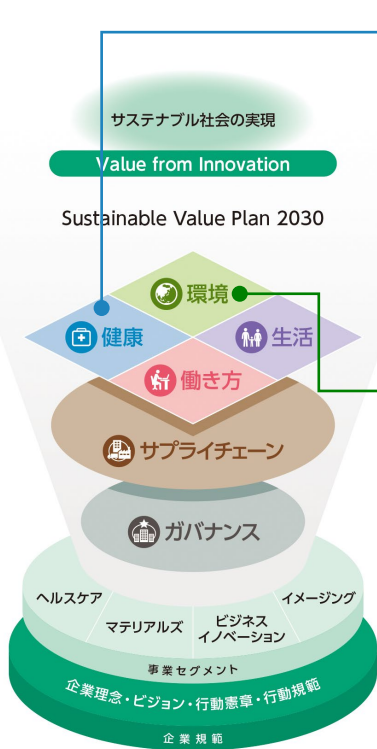
- ▶ 電気ボイラーの導入。
 - ▶ 再生可能エネルギー由来の電力を採用。
- ▶ 2030年までにデンマーク拠点でのカーボンニュートラルの実現

中国の複合機リサイクル拠点でカーボンニュートラルを実現

富士フイルムエコマニュファクチャリング (蘇州)

- ▶ 拠点内に太陽光パネル(約8,000㎡)を設置。→ 使用電力の90%をカバー。
- ▶ 再生可能エネルギー証書※が適用された電力を購入。

※ 再生可能エネルギーによって発電された電気の「環境価値」を証書化したもの。



2023年3月期 第1四半期

連結業績及び事業概況

2023年3月期 第1四半期 業績(2022年4月~6月)

(単位：億円)

	1Q				
	2022年3月期	2023年3月期	対前年度	為替影響	為替影響 除く
売上高	5,827 100.0%	6,259 100.0%	432 +7.4%	433	-1 -0.0%
営業利益	563 9.7%	496 7.9%	-67 -12.0%	92	-159 -28.4%
税金等調整前四半期純利益	778 13.3%	552 8.8%	-226 -29.0%	130	-356 -45.8%
当社株主帰属四半期純利益	573 9.8%	414 6.6%	-159 -27.8%	90	-249 -43.6%
1株当たり当社株主帰属四半期純利益	143.34円	103.21円	-40.13円		
為替 ：米ドル ：ユーロ	109円 132円	130円 138円	21円安 6円安		

<その他増減要因(対前年度)>
 営業利益における
 原材料価格影響：▲62億円
 (半導体等の部材価格は含まず)

セグメント別 連結売上高 | 営業利益

(単位：億円)

売上高	1Q		対前年度			
	2022年 3月期	2023年 3月期			為替影響除く	
ヘルスケア	1,742	1,802	60	+3.5%	-86	-4.9%
マテリアルズ	1,498	1,750	252	+16.8%	116	+7.7%
ビジネスイノベーション	1,861	1,882	21	+1.2%	-52	-2.8%
イメージング	726	825	99	+13.6%	21	+2.8%
合計	5,827	6,259	432	+7.4%	-1	-0.0%

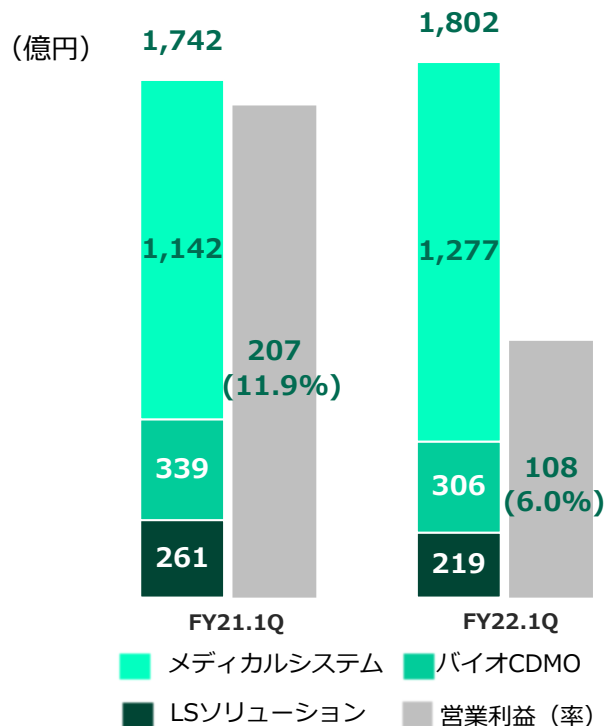
*セグメント間取引消去後

(単位：億円)

営業利益	1Q		対前年度			
	2022年 3月期	2023年 3月期			為替影響除く	
ヘルスケア	207	108	-99	-47.7%	-137	-66.0%
マテリアルズ	213	228	15	+7.3%	-33	-15.1%
ビジネスイノベーション	140	142	2	+1.3%	22	+15.7%
イメージング	80	105	25	+31.8%	-3	-3.6%
全社/連結調整	-77	-87	-10	-	-8	-
合計	563	496	-67	-12.0%	-159	-28.4%

セグメント別概況：ヘルスケア

メディカルシステムは販売好調で増収、バイオCDMO及びLSソリューションは前年のコロナ関連需要の一巡により減収となり、売上高対前年+3.5%、営業利益対前年-47.7%と増収・減益で着地。



メディカルシステム

売上高 1,277億円 (対前年+11.9%)

- 医療IT、超音波、内視鏡などの販売が好調に推移し、増収。
- CT・MRIは、半導体等部品不足の影響を受けたが、全身用X線CT診断装置「Supria」の販売が好調で、増収を確保。

バイオCDMO

売上高 306億円 (対前年-9.5%)

- バイオ医薬品のプロセス開発受託及び製造受託がデンマーク拠点で堅調に推移するも、前年に米国拠点でCOVID-19ワクチン候補原薬の製造に係る収入があったことにより、減収。
- 米国ボストン拠点で遺伝子治療薬のプロセス開発の受託サービスを開始。本年4月の事業買収*と、ビジネスを本格化した細胞治療薬の開発・製造受託サービスとともに、最先端治療分野の顧客ニーズに応え、バイオCDMOの成長を加速。
*米国バイオベンチャーAtara Biotherapeutics, Inc.社の細胞治療薬製造拠点を買収

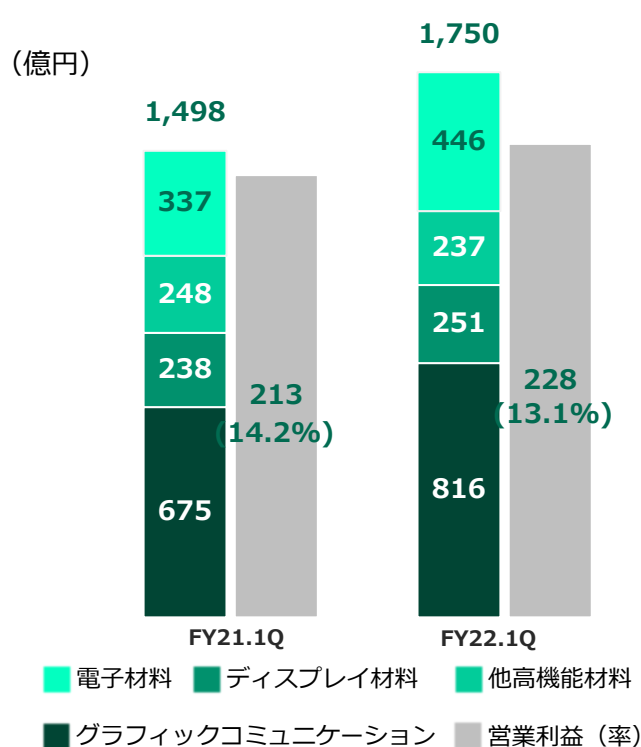
LSソリューション

売上高 219億円 (対前年-16.5%)

- ライフサイエンスは、バイオ医薬品製造用培地のコロナ関連特需の一巡による減収を、試薬と細胞の増収でカバーし、前年並みの売上を確保。
- 医薬品が、2022年3月に完了した放射性医薬品事業の譲渡により、減収。
*LSソリューション：ライフサイエンス事業（細胞・培地・試薬）、医薬品事業、コンシューマーヘルスケア事業（化粧品・サプリメント）から構成される開示セグメント

セグメント別概況：マテリアルズ

旺盛な半導体需要を背景とした電子材料の成長と、各事業のコロナ影響からの着実な回復により、売上高対前年+16.8%、営業利益対前年+7.3%と増収・増益で着地。



電子材料

売上高 446億円 (対前年+32.4%)

- 半導体需要の増加に伴い、CMPスラリー、ポリイミド、フォトリソ周辺材料など幅広い製品群で販売が好調に推移し、増収。

ディスプレイ材料

売上高 237億円 (対前年-4.4%)

- TV向けの製品は順調に販売を伸ばすも、WVフィルムの需要減の影響を受け、減収。

他高機能材料

売上高 251億円 (対前年+5.5%)

- ファインケミカルでの、製薬会社向けの医薬品原料や、欧米向けの重合材料の販売が堅調などにより、増収。

グラフィックコミュニケーション

売上高 816億円 (対前年+20.8%)

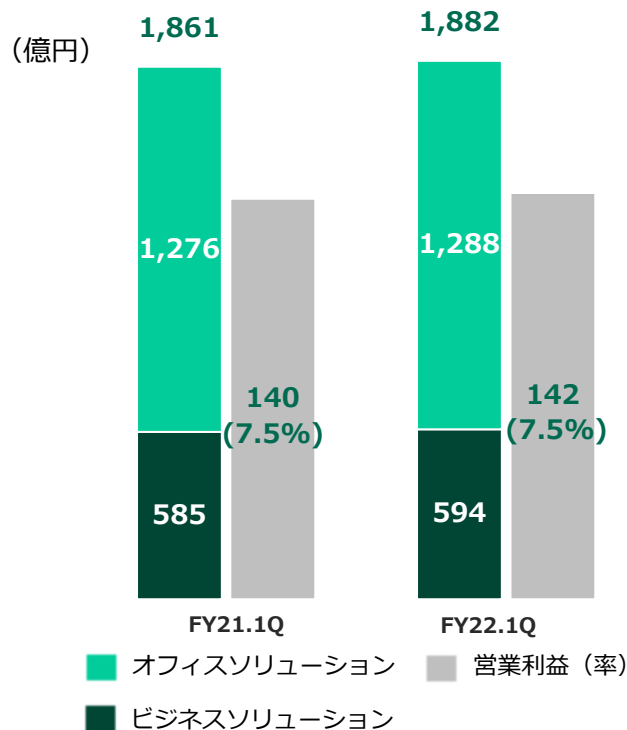
- グラフィックコミュニケーションでは、刷版材料のコロナ影響からの回復に加え、原材料価格高騰に伴う各地域での販売価格の見直し実施、デジタル印刷分野でも、市場の回復傾向が継続し、増収。
- インクジェットでは、産業用インクジェットヘッドの販売が、主に欧州の建材印刷市場での需要増により好調に推移したことに加え、ホーム&オフィス市場向け染料インクの販売が伸長し、増収。

セグメント別概況：ビジネスイノベーション

FUJIFILM

中国ロックダウンの影響を受けるも、消耗品の輸出売上の増加や海外でのBPO※事業の売上増加などにより、売上高は対前年+1.2%、営業利益は対前年+1.3%と増収・増益で着地。

※ビジネスプロセスアウトソーシング



オフィスソリューション

売上高 1,288億円 (対前年+1.1%)

- 中国ロックダウンの影響を受けるも、消耗品の輸出売上の増加や為替影響等により、増収。
- 2022年7月1日付で、研究開発を含む複合機及びプリンターの全体戦略立案・推進機能を担う新たな組織として、デバイステクノロジー(DT)事業本部を設立。市場ニーズに即した競争力のあるデバイスを迅速に開発し、OEM供給を含むグローバル展開を促進。

ビジネスソリューション

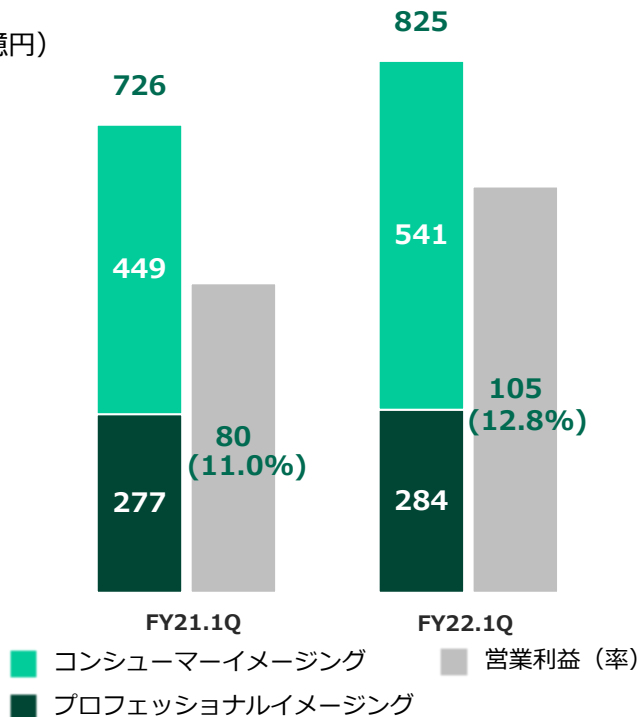
売上高 594億円 (対前年+1.4%)

- 海外でのBPO事業の売上増加や為替影響等により、増収。
- 2022年5月に、業種別・業務別にお客様のDX課題解決を強力に支援し、中堅・中小企業のDXを加速する新ソリューション「Bridge DX Library」の提供を開始。2022年7月には、合計103種類のソリューションにラインアップを拡大。
- 2022年7月1日付で、ソリューション・サービス事業およびBPO事業の全体戦略立案・推進機能を統合したビジネスソリューションサービス(BSS)事業本部を設立。

セグメント別概況：イメージング

デジタルカメラは中国ロックダウン影響を受けるも、インスタントフォトシステムやカラー印画紙の販売が好調に推移し、売上高対前年+13.6%、営業利益対前年+31.8%と増収・増益で着地。

(億円)



消費者イメージング

売上高 541億円 (対前年+20.4%)

- インスタントフォトシステムや、カラー印画紙、ドライプリント機器及び材料の販売が好調に推移し、増収。
- 2022年7月にスマートフォン用プリンター「instax mini Link2」を発売、AR(拡張現実)技術を活用した空間描画機能「instaxAiR」など、新たな機能を搭載し市場から高い評価を獲得。
- インスタントフォトシステム用フィルムの需要拡大に対応すべく、神奈川事業場に約20億円を投じて生産ラインを増設することを決定。今秋に稼働予定。

プロフェッショナルイメージング

売上高 284億円 (対前年+2.5%)

- デジタルカメラは中国ロックダウンによる影響を受けたが、放送カメラ用レンズの販売がコロナ影響から回復し、増収。
- 2022年7月に、高画質と小型軽量を両立する「Xシリーズ」史上、最高の高速連写、AF・動画性能を実現したミラーレスデジタルカメラ「FUJIFILM X-H2S」を発売。
- レンズ一体型の遠望監視カメラ「SX800」に全天候型旋回台と専用の映像管理ソフトウェアを合わせた一つのパッケージ「SX システム」として、本年6月からサービス展開を本格化。

連結貸借対照表

(単位：億円)

	21年 3月期末	22年 3月期末	23年3月期 6月末	対22年 3月期末		21年 3月期末	22年 3月期末	23年3月期 6月末	対22年 3月期末
現金及び現金同等物	3,948	4,863	5,381	518	長短社債及び借入金	5,030	4,472	5,707	1,235
受取債権	6,057	5,986	6,026	40	支払債務	2,399	3,032	3,088	56
棚卸資産	4,177	5,045	5,911	866	その他流動・固定負債	5,841	6,800	6,868	68
その他流動資産	892	1,353	1,609	256	負債計	13,270	14,304	15,663	1,359
流動資産計	15,074	17,247	18,927	1,680	株主資本計	22,046	25,027	26,565	1,538
有形固定資産	6,353	7,368	8,044	676	非支配持分	176	222	240	18
営業権	8,042	8,240	8,617	377	純資産計	22,222	25,249	26,805	1,556
その他固定資産	6,023	6,698	6,880	182	負債・純資産合計	35,492	39,553	42,468	2,915
固定資産計	20,418	22,306	23,541	1,235					
資産合計	35,492	39,553	42,468	2,915					

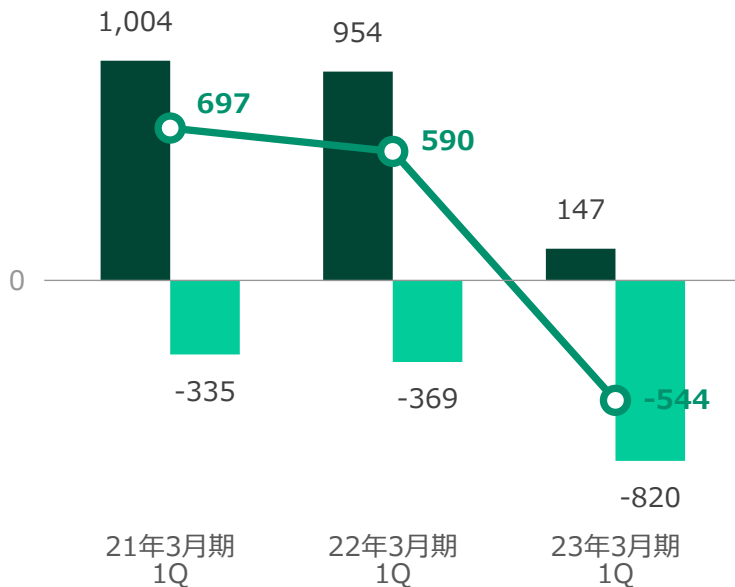
(単位：円)

期末日 為替レート	21年 3月期末	22年 3月期末	23年3月期 6月末	対22年 3月期末
米ドル	111	122	137	15円安
ユーロ	130	137	143	6円安

連結キャッシュ・フロー

- 営業活動によるキャッシュ・フロー
- 投資活動によるキャッシュ・フロー
- 事業買収等を除くフリー・キャッシュ・フロー

(億円)



(単位：億円)

	21年3月期 1Q	22年3月期 1Q	23年3月期 1Q
当期純利益	277	583	414
減価償却費	299	313	351
受取債権の増(-)減(+)	979	721	233
棚卸資産の増(-)減(+)	-455	-396	-625
営業債務の増(+)-減(-)	-166	51	-51
その他	70	-318	-175
営業活動によるCF	1,004	954	147
設備投資	-230	-275	-520
ソフトウェアの購入	-38	-70	-113
投資有価証券の売却・購入等	-28	-5	19
事業買収	0	0	-148
その他	-39	-19	-58
投資活動によるCF	-335	-369	-820
フリー・キャッシュ・フロー(FCF)	669	585	-673
事業買収等を除くFCF※	697	590	-544

※フリー・キャッシュ・フローから、事業買収、及び投資有価証券等の売却・購入を控除しています。

2023年3月期 連結業績予想

2023年3月期 通期連結業績予想 (2022年8月10日時点)

(単位：億円)

	2022年3月期	2023年3月期 前回予想 (2022/5/11公表値)	2023年3月期 今回予想 (2022/8/10公表値)	対前年度	対前回予想
売上高	25,258 100%	26,500 100%	27,000 100%	1,742 +6.9%	500 +1.9%
営業利益	2,297 9.1%	2,450 9.2%	過去 最高 2,500 9.3%	203 +8.8%	50 +2.0%
税金等調整前当期純利益	2,604 10.3%	2,550 9.6%	2,600 9.6%	-4 -0.2%	50 +2.0%
当社株主帰属当期純利益	2,112 8.4%	1,920 7.2%	1,950 7.2%	-162 -7.7%	30 +1.6%
1株当たり当社株主帰属当期純利益 ^(※1)	527.33円	479.05円	486.53円	-40.80円	+7.48円
ROE	9.0%	7.6%	7.6%	-1.4%	-
ROIC	5.6%	5.7%	5.7%	+0.1%	-
CCC	122日	114日	114日	-8日	-
為替 ^(※2) : 米ドル	113円	120円	126円	13円安	6円安
: ユーロ	131円	132円	134円	3円安	2円安
銀価格 (/kg)	89,000円	95,000円	97,000円	+8,000円	+2,000円

※1 1株当たり当社株主帰属当期純利益の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2022年6月30日現在の発行株式数(自己株式数を除く)を使用しています。

※2 2023年3月期 営業利益 為替感応度 米ドル：3億円/年、ユーロ：8億円/年

セグメント別業績予想 (2022年8月10日時点)

(単位：億円)

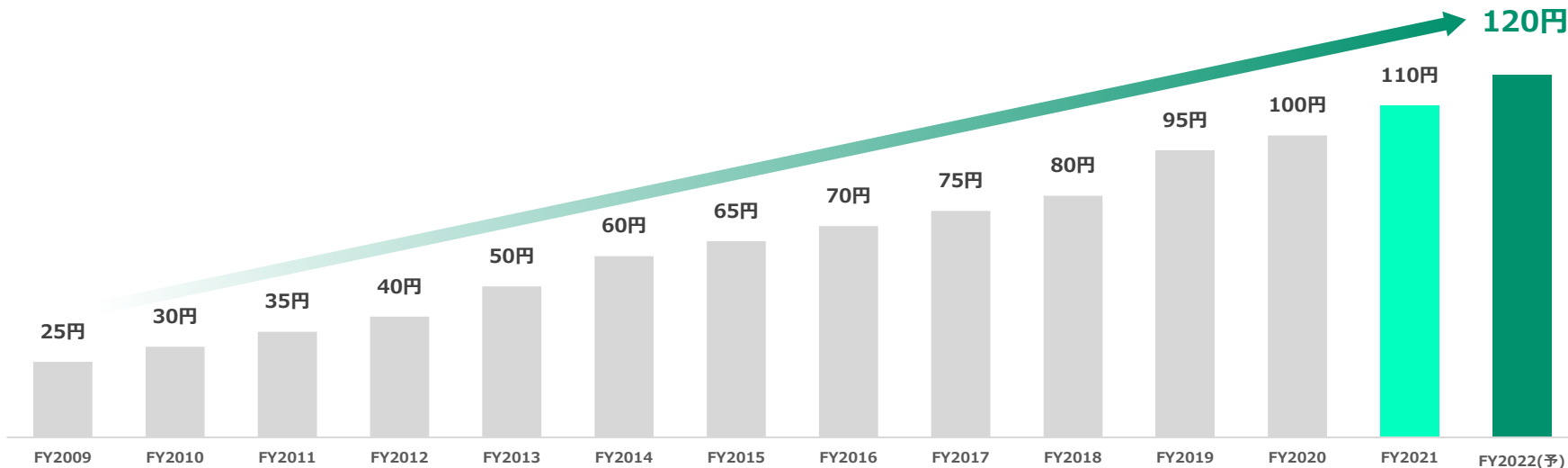
売上高	2022年3月期	2023年3月期 前回予想 (2022/5/11公表値)	2023年3月期 今回予想 (2022/8/10公表値)	対前回予想	
					内、為替影響
ヘルスケア	8,017	8,500	8,600	100	175
マテリアルズ	6,272	6,700	6,800	100	140
ビジネスイノベーション	7,635	7,900	8,000	100	65
イメージング	3,334	3,400	3,600	200	100
合計	25,258	26,500	27,000	500	480

(単位：億円)

営業利益	2022年3月期	2023年3月期 前回予想 (2022/5/11公表値)	2023年3月期 今回予想 (2022/8/10公表値)	対前回予想	
					内、為替影響
ヘルスケア	1,005	1,100	1,120	20	50
マテリアルズ	684	710	720	10	35
ビジネスイノベーション	579	700	670	-30	-30
イメージング	370	370	420	50	25
全社/連結調整	-341	-430	-430	-	-
合計	2,297	2,450	2,500	50	80

配当金

➤ 2023年3月期の年間配当金は、13期連続増配となる120円/株を予定



自己株式取得

➤ キャッシュフローを勘案し、株価の推移に応じて機動的に実施

2023年3月期 第1四半期
参考資料

1Q業績：ヘルスケア

(単位：億円)

売上高	1Q					
	2022年 3月期	2023年 3月期	対前年度		為替影響除く	
メディカルシステム	1,142	1,277	135	+11.9%	41	+3.7%
バイオCDMO	339	306	-33	-9.5%	-73	-21.3%
LSソリューション	261	219	-42	-16.5%	-54	-21.1%
合計	1,742	1,802	60	+3.5%	-86	-4.9%

*セグメント間取引消去後

営業利益 [営業利益率]	1Q					
	2022年 3月期	2023年 3月期	対前年度		為替影響除く	
ヘルスケア	207 [11.9%]	108 [6.0%]	-99	-47.7%	-137	-66.0%

1Q業績：マテリアルズ

(単位：億円)

売上高	1Q					
	2022年 3月期	2023年 3月期	対前年度		為替影響除く	
電子材料	337	446	109	+32.4%	53	+15.7%
ディスプレイ材料	248	237	-11	-4.4%	-12	-4.8%
他高機能材料	238	251	13	+5.5%	-9	-3.3%
グラフィックコミュニケーション	675	816	141	+20.8%	84	+12.2%
合計	1,498	1,750	252	+16.8%	116	+7.7%

*セグメント間取引消去後

営業利益 [営業利益率]	1Q					
	2022年 3月期	2023年 3月期	対前年度		為替影響除く	
マテリアルズ	213 [14.2%]	228 [13.1%]	15	+7.3%	-33	-15.1%

1Q業績：ビジネスイノベーション

(単位：億円)

売上高	1Q					
	2022年 3月期	2023年 3月期	対前年度		為替影響除く	
オフィスソリューション	1,276	1,288	12	+1.1%	-40	-3.0%
ビジネスソリューション	585	594	9	+1.4%	-12	-2.2%
合計	1,861	1,882	21	+1.2%	-52	-2.8%

*セグメント間取引消去後

営業利益 [営業利益率]	1Q					
	2022年 3月期	2023年 3月期	対前年度		為替影響除く	
ビジネスイノベーション	140 [7.5%]	142 [7.5%]	2	+1.3%	22	+15.7%

1Q業績：イメージング

(単位：億円)

売上高	1Q					
	2022年 3月期	2023年 3月期	対前年度		為替影響除く	
コンシューマーイメージング	449	541	92	+20.4%	36	+7.8%
プロフェッショナルイメージング	277	284	7	+2.5%	-15	-5.3%
合計	726	825	99	+13.6%	21	+2.8%

*セグメント間取引消去後

営業利益 [営業利益率]	1Q					
	2022年 3月期	2023年 3月期	対前年度		為替影響除く	
イメージング	80 [11.0%]	105 [12.8%]	25	+31.8%	-3	-3.6%

営業利益増減分析（1Q実績 対前年）

FUJIFILM

（単位：億円）

	1Q								
	2022年 3月期	2023年 3月期	対前年度		為替	原材料価格	一時費用	中国 ロックダウン	オペレー ション等 ^{※1}
ヘルスケア	207	108	-99	-47.7%	38	-4	-13	-11	-109
マテリアルズ	213	228	15	+7.3%	48	-52	-4	-6	29
ビジネスイノベーション	140	142	2	+1.3%	-20	-	31	-8	-1
イメージング	80	105	25	+31.8%	28	-6	-10	-15	28
全社/連結調整	-77	-87	-10	-	-2	-	-	-	-8
合計	563	496	-67	-12.0%	※2 92	※3 -62	※4 4	-40	-61

※1 半導体需給逼迫に伴う部材価格及び物流コストの高騰影響も含む

※2：為替レート

	2022年 3月期	2023年 3月期
米ドル	109円	130円
ユーロ	132円	138円

※3：原材料別(半導体影響は除く)

	1Q
銀	-1
アルミ	-34
他(燃料等)	-27
合計	-62

※4：一時費用明細

	2022年 3月期	2023年 3月期	差異
ヘルスケア	-	13	-13
新規費収会社(CDMO)	-	11	-11
その他	-	2	-2
マテリアルズ	-	4	-4
グラフィック等	-	4	-4
ビジネスイノベーション	43	12	31
体質強化費	16	5	11
新ブランド移行費用	27	7	20
イメージング	-	10	-10
体質強化費用等	-	10	-10
全社	-	-	-
合計	43	39	4

2023年3月期 通期連結業績予想 (2022年8月10日時点)

事業別売上高

(単位:億円)

	2022年3月期 実績	2023年3月期 前回予想(5/11)	2023年3月期 今回予想(8/10)	対前年度		対前回予想	
ヘルスケア	8,017	8,500	8,600	583	+7.3%	100	+1.2%
メディカルシステム	5,338	5,700	5,850	512	+9.6%	150	+2.6%
バイオCDMO	1,503	1,600	1,650	147	+9.8%	50	+3.1%
LSソリューション	1,176	1,200	1,100	-76	-6.5%	-100	-8.3%
マテリアルズ	6,272	6,700	6,800	528	+8.4%	100	+1.5%
電子材料	1,467	1,680	1,700	233	+15.9%	20	+1.2%
ディスプレイ材料	947	920	850	-97	-10.2%	-70	-7.6%
他高機能材料	964	1,000	970	6	+0.6%	-30	-3.0%
グラフィックコミュニケーション	2,894	3,100	3,280	386	+13.3%	180	+5.8%
ビジネスイノベーション	7,635	7,900	8,000	365	+4.8%	100	+1.3%
オフィスソリューション	5,075	5,150	5,200	125	+2.5%	50	+1.0%
ビジネスソリューション	2,560	2,750	2,800	240	+9.4%	50	+1.8%
イメージング	3,334	3,400	3,600	266	+8.0%	200	+5.9%
コンシューマーイメージング	2,190	2,300	2,400	210	+9.6%	100	+4.3%
プロフェッショナルイメージング	1,144	1,100	1,200	56	+4.9%	100	+9.1%
合計	25,258	26,500	27,000	1,742	+6.9%	500	+1.9%
為替							
米ドル	113円	120円	126円	13円安		6円安	
ユーロ	131円	132円	134円	3円安		2円安	

営業利益増減分析 (通期業績予想 対前回予想) FUJIFILM

(単位：億円)

	2023年3月期(通期)							
	前回予想 (2022/5/11)	今回予想 (2022/8/10)	対前回予想		為替	原材料価格	一時費用	オペレー ション等 ^{※1}
ヘルスケア	1,100	1,120	20	+1.8%	50	-5	-	-25
マテリアルズ	710	720	10	+1.4%	35	-5	-	-20
ビジネスイノベーション	700	670	-30	-4.3%	-30	-	-	-
イメージング	370	420	50	+13.5%	25	-5	-	30
全社/連結調整	-430	-430	-		-	-	-	-
合計	2,450	2,500	50	+2.0%	※2 80	※3 -15	※4 -	-15

※1 半導体需給逼迫に伴う部材価格及び物流コストの高騰影響も含む

※2：為替レート

	前回予想 (2022/5/11)	今回予想 (2022/8/10)
米ドル	120円	126円
ユーロ	132円	134円

※3：原材料別(半導体影響は除く)

	今回予想
銀	-5
アルミ	+5
他(燃料等)	-15
合計	-15

※4：一時費用明細

(単位：億円)

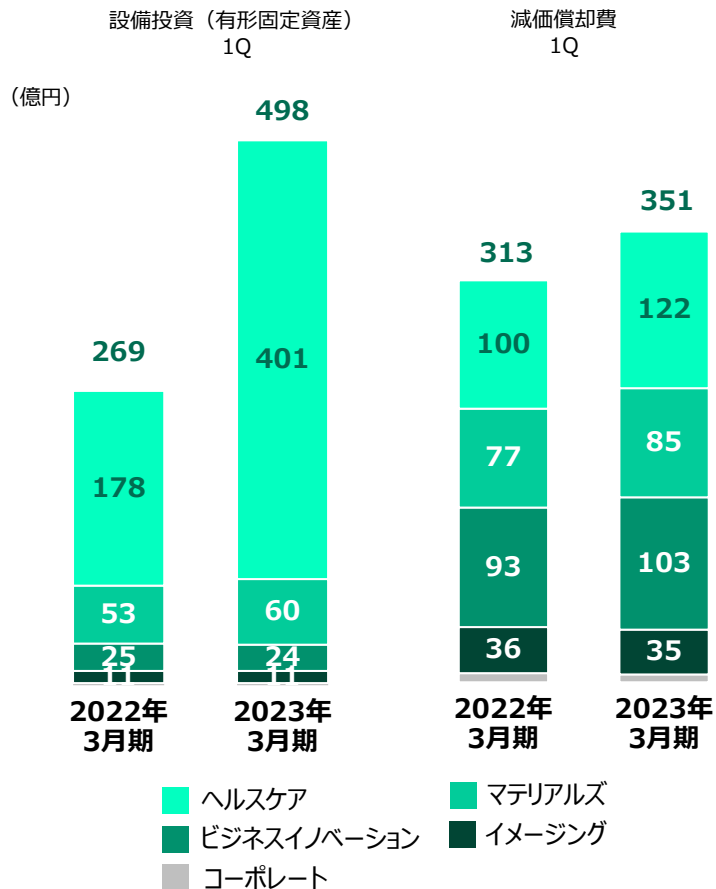
	前回予想 (2022/5/11)	今回予想 (2022/8/10)	差異
ヘルスケア	65	65	-
新規買収会社(CDMO)	45	45	-
その他	20	20	-
マテリアルズ	25	25	-
グラフィック等	25	25	-
ビジネスイノベーション	115	115	-
体質強化費	80	80	-
新ブランド移行費用	35	35	-
イメージング	25	25	-
体質強化費用等	25	25	-
全社	5	5	-
合計	235	235	-

国内・海外別連結売上高

(単位：億円)

		2022年3月期 1Q		2023年3月期 1Q		対前年度	
		構成比(%)		構成比(%)			
日本		38.2%	2,224	35.8%	2,240	16	+0.7%
	米州	21.1%	1,229	21.4%	1,337	108	+8.8%
	欧州	12.5%	730	15.1%	942	212	+29.0%
	内、中国	14.2%	831	13.9%	867	36	+4.4%
	アジア他	28.2%	1,644	27.7%	1,740	96	+5.8%
海外		61.8%	3,603	64.2%	4,019	416	+11.5%
合計		100.0%	5,827	100.0%	6,259	432	+7.4%

設備投資 | 減価償却費



(単位: 億円)

年度	1Q		通期	
	2022年 3月期	2023年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期 (予想)
ヘルスケア	178	401	1,039	2,600
マテリアルズ	53	60	317	650
ビジネスイノベーション	25	24	121	110
イメージング	11	11	55	110
コーポレート	2	2	20	30
設備投資 (有形固定資産)	269	498	1,552	3,500
ヘルスケア	28	24	113	150
マテリアルズ	10	16	68	50
ビジネスイノベーション	52	124	314	300
イメージング	12	12	54	50
コーポレート	7	8	39	50
設備投資 (ソフト、レンタル資産他)	109	184	588	600
ヘルスケア	100	122	445	540
マテリアルズ	77	85	324	350
ビジネスイノベーション	93	103	390	440
イメージング	36	35	141	150
コーポレート	7	6	30	20
減価償却費	313	351	1,330	1,500

研究開発費 | 販売費及び一般管理費



(単位：億円)

年度	1Q		通期	
	2022年 3月期	2023年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期 (予想)
ヘルスケア	109	113	453	
マテリアルズ	100	120	399	
ビジネスイノベーション	90	83	332	
イメージング	21	21	85	
コーポレート	52	39	236	
研究開発費	372	376	1,505	1,620
<売上高比>	6.4%	6.0%	6.0%	6.0%
販売費及び一般管理費	1,592	1,672	6,530	
<売上高比>	27.3%	26.8%	25.8%	

為替

(単位：円)

	2022年3月期					2023年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2-4Q(予想)	通期(予想)
米ドル	109	111	114	116	113	130	125	126
ユーロ	132	130	130	130	131	138	132	134

原材料価格 (平均)

(単位：千円/kg)

	2022年3月期					2023年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2-4Q(予想)	通期(予想)
銀	93	86	86	88	89	95	98	97

人員

(単位：人)

	2021.6末	2021.9末	2021.12末	2022.3末	2022.6末
連結	75,879	75,007	74,842	75,474	75,341

パイプライン (2022年8月10日時点)

開発番号	薬効・適応症	剤形	地域	開発段階
T-705	抗新型コロナウイルス (COVID-19) 薬	経口	日本	承認申請中
	重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) 治療薬		米国	Ph II
T-817MA	アルツハイマー型認知症治療薬	経口	日本	Ph III
			米国	Ph II
	脳卒中後のリハビリテーション効果促進薬		欧州	Ph II
T-4288	新規フルオロケトライド系抗菌薬	経口	日本	承認申請中
FF-10501	骨髄異形成症候群治療薬	経口	日本	Ph I
			米国	Ph II
FF-10502	進行・再発固形がん治療薬	注射	米国	Ph II
FF-10832	進行性固形がん治療薬 (ゲムシタピンリポソーム)	注射	米国	Ph I
FF-10850	進行性固形がん治療薬 (トポテカンリポソーム)	注射	米国	Ph I

※ FF-10101 : 米国での臨床試験結果を踏まえ、開発を中止した。

- **富士フイルムホールディングス 株主・投資家情報**
<https://ir.fujifilm.com/ja/investors.html>
- **富士フイルムホールディングス 統合報告書2021**
<https://ir.fujifilm.com/ja/investors/ir-materials/integrated-report.html>
- **IR資料室**
<https://ir.fujifilm.com/ja/investors/ir-materials.html>
- **富士フイルムってどんな会社？**
<https://ir.fujifilm.com/ja/investors/individual.html>
- **グローバルブランディングキャンペーン「NEVER STOP」**
<https://www.fujifilm.com/jp/ja/about/brand/story/neverstop>
- **新型コロナウイルス感染症への取り組み**
<https://brand.fujifilm.com/covid19/jp/>

FUJIFILM

Value from Innovation

富士フィルムは、生み出しつづけます。

人々の心が躍る革新的な「技術」「製品」「サービス」を。

明日のビジネスや生活の可能性を拡げるチカラになるために。

富士フィルム ホールディングス株式会社

コーポレートコミュニケーション部

<https://holdings.fujifilm.com/ja>